群馬教員卓球男子　全国準優勝

第５７回全国教職員卓球選手権大会（日本卓球協会・全国教職員卓球連盟主催）が７日から９日に山梨県小瀬スポーツ公園体育館で行われ、本県男子選手団が団体で準優勝と、昨年度の三位に続き表彰台に上った。

準決勝は昨年度準優勝の三重県と対戦。１番シングルスはレフティの亀里智永（みどり市立福岡中央小教員）がフルゲームを制して先勝。続く２番シングルスも山田斉（前橋高出身・吾妻高教員）が相手チームのエースに力強い両ハンド攻撃で３対１と勝利した。３番ダブルスでは柳井宏一（伊勢崎市立坂東小教員）・亀里智永組が昨年度ダブルス種目で準優勝の三重ペアを相手に波に乗ってストレートで完勝し決勝へ駒を進めた。

決勝は昨年度準決勝で惜敗した大阪Ａと対戦。１番福泉稔明（樹徳中職員）、２番山田とスコアは競るも惜敗。３番ダブルスは前日のダブルス決勝戦の再現となったが、第３ゲームはジュースとなるもまたも惜敗し、準優勝となった。

羽鳥和典監督（前橋市立荒砥中教員）の話「昭和５８年あかぎ国体が開催された年に全国優勝して以来の優勝、そして昨年度の対大阪府へのリベンジを目標にしたが残念。オーダー的には前半１勝できれば後半勝負ができたが…。でも選手は力を出し切った。」

なお、個人戦では男子ダブルスで柳井・亀里組が準優勝（優勝ペアが全日本出場推薦を辞退したため全日本出場推薦獲得）、男子ハイシックスティ（６５歳以上７０歳未満）で針谷正紀（高崎健康福祉大教員）が第３位に入賞した。男子シングルスでは上位入賞はならなかったが、優勝した齋藤清（埼玉工業大職員）にフルゲームジュースで惜敗した山田の活躍が光った。

来年度の大会は８月、熊本県八代市で開催される。

記録

〈男子団体〉

二回戦　群馬　３－２　滋賀

三回戦　群馬　３－０　茨城Ａ

準々決勝　群馬　３－１　山口

準決勝　群馬　３－０　三重

決勝　群馬　０－３　大阪Ａ

福泉稔明　０－３　勝　健真

山田　斉　０－３　藤原勇介

亀里智永／柳井宏一　０－３　勝　健真／岸本祥一郎

柳井宏一　岸本祥一郎

亀里智永　堀内誠

〈男子シニア団体〉

一回戦　群馬　０－３　愛知Ａ

〈男子ダブルス〉

二回戦

亀里智永／柳井宏一　３－０　小林／平田（静岡）

三回戦

亀里・柳井　３－０　松下・吉村（鹿児島）

四回戦

亀里・柳井　３－０　桂田・岸本（滋賀）

準々決勝

亀里・柳井　３－１　大濱・原　（兵庫）

準決勝

亀里・柳井　３－１　沖・足立（兵庫）

決勝

亀里・柳井　０－３　勝・岸本（大阪）

〈男子シニアダブルス〉

一回戦

小林　孝昭（桐生女子高 OB）／針谷　正紀（高崎健康福祉大）　不戦勝　久寿／高橋（高知）

二回戦

小林・針谷　２－３　勝・吉田（大阪）

〈一般男子シングルス〉

二回戦　福泉稔明　３－０　橋本尊幸（福井）

亀里智永　３－０　福田稔修（愛知）

柳井宏一　３－１　村上悠馬（三重）

山田　斉　３－０　平田健一郎（静岡）
三回戦　福泉稔明　３－０　藤倉健太（北海道）
亀里智永　０－３　藤原勇介（大阪）
柳井宏一　３－０　吉田真人（神奈川）
山田　斉　３－１　阿部一道（山口）
四回戦　福泉稔明　０－３　田中悠嗣（三重）
柳井宏一　１－３　相原正義（宮城）
山田　斉　２－３　齋藤清（埼玉）

〈男子フォーティ〉
一回戦　羽鳥和典　０－３　宮澤優一（長野）

〈男子ローシックスティ〉
一回戦　伊藤文男（藤岡市立第一小 OB）２－３
久寿義人（高知）

〈男子ハイシックスティ〉
二回戦　若林孝範（前橋南高）０－３　田坂俊之
（山口）
針谷正紀　３－１　園部和男（大阪）
三回戦　針谷正紀　３－２　藤田誠治（神奈川）
準々決勝　針谷正紀　３－１　出口純一（神奈川）
準決勝　針谷正紀　０－３　バリー・ヘイター（東
京）

〈男子ハイセブンティ〉
一回戦　小林孝昭　３－２　平田実（大阪）
二回戦　小林孝昭　１－３　山口弘毅（青森）

〈一般女子シングルス〉
一回戦　柴田啓乃（赤城養護学校本校）　３－０
藤本静（大阪）
二回戦　柴田啓乃　２－３　寺地優美（京都）